

家庭科

3年

※MS ゴシック体は学力向上に関わる内容

※下線部は表現する能力の向上に関わる内容

課題分析	授業改善推進プラン
<p>1 知識・技術 幼児の生活に自分の幼い頃をリンクさせながら、興味・関心をもち授業に取り組む生徒が多い。幼児との触れ合いを生活の中で経験することの少ない生徒も多い。幼児に関心のない生徒も多い。</p> <p>2 思考・判断・表現 幼児に関する知識を活かし、製作やワークシートの課題に意欲的に取り組む生徒は多いが、自分の考え方を応用・発展させ文章にまとめ発表したりすることには消極的な生徒が少ない。家庭科ノートの課題や幼児のおもちゃの製作に意欲的に取り組む生徒が多かった。</p> <p>3 主体的に学習に取り込む態度 家庭や地域の活動に参加できる事が増え、支える立ち場になりたいと思う生徒が増えたが、その機会をもてる生徒は少ない。</p>	<p>1 知識・技術 幼児への関心、理解を深められる教材や課題を工夫する。自分の幼い頃と重ね合わせ幼児の成長を理解し、知識の定着を図る。 ICTの動画などを活用し、幼児の年齢ごとの心身の発達や生活の様子を見ることで、授業内容を理解しやすくし知識の定着を図る。</p> <p>2 思考・判断・表現 幼児のおもちゃの製作や絵本読みなどを通して、幼児への関心や理解を深める。幼児と触れ合い試行錯誤する中で、幼児にあった遊び方や接し方を工夫させ、思考力・判断力などを伸ばし問題解決への道筋を立てられる指導をする。 <u>調べ学習や体験学習のレポートを作成し発表したり、製作した作品を鑑賞し合うことにより互いに考察し感情豊かな表現力や発想力、思考力、想像力を高めさせる工夫をする。</u></p> <p>3 主体的に学習に取り込む態度 成長を振り返ることで、家庭や地域の人々に支えられてきたことを再認識させる。<u>家庭や地域の活動に参加し、協働したことを考察し、結果をワークシートにまとめ発表し合う活動を取り入れていく。</u> 体験を通して課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善し、生活を工夫し実践しようとする態度を養う。</p>